平成23年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年２月10日

上 場 会 社 名　　株式会社ウェブマネー　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　2167　URL　http://www.webmoney.jp/
代表者　　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)吉田　眞市
問合せ先責任者　(役職名)取締役管理部担当　　(氏名)大年　寿子　　TEL 03-5733-8123
四半期報告書提出予定日　　平成23年２月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成23年３月期第３四半期の業績（平成22年４月１日～平成22年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第３四半期	54,397	63.3	990	69.6	1,021	70.7	600	127.0
22年３月期第３四半期	33,315	15.4	583	62.8	598	61.6	264	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第３四半期	10,362　50	10,059　94
22年３月期第３四半期	4,632　63	4,411　04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第３四半期	18,936	2,728	14.4	46,881　36
22年３月期	13,202	2,141	16.2	37,693　93

(参考)　自己資本　　23年３月期第３四半期　　2,728百万円　　22年３月期　　2,141百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	―	0　00	―	1,000　00	1,000　00
23年３月期	―	0　00	―		
23年３月期(予想)				1,000　00	1,000　00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：無

3.　平成23年３月期の業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	68,700	48.6	920	21.7	960	22.8	580	71.1	9,993　28

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：無

4.　その他（詳細は、【添付資料】P.4「２.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）　「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期３Ｑ	62,330株	22年３月期	60,930株
②　期末自己株式数	23年３月期３Ｑ	4,129株	22年３月期	4,129株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期３Ｑ	57,987株	22年３月期３Ｑ	57,152株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.３「１.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
3.　四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 7
【第３四半期累計期間】 …… 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第３四半期会計期間におけるわが国経済は緩やかな回復傾向にあるものの、国及び地方自治体の厳しい財政状態、不安定な海外経済、円高の影響などが懸念される状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社を取り巻く環境といたしましては、携帯電話によるソーシャルゲーム市場の急成長や電子書籍市場が注目を集めるなど、デジタルコンテンツの需要は引き続き拡大基調にあります。

また、当社決済の主力分野であるオンラインゲーム市場は、既存タイトルの人気継続に伴い堅調に推移しており、当社の業績を牽引しております。

さらに、平成22年７月より、携帯公式コンテンツの一部で当社決済が導入され、より多くの方にご利用いただけるサービスとして広がりを見せております。

こうしたことから、「かんたん・安全・便利」な電子マネー「WebMoney」の利用が拡大し、売上高も順調に増加いたしました。

以上の結果から、当第３四半期累計期間の売上高は54,397百万円（前年同四半期比63.3％増）、営業利益は990百万円（前年同四半期比69.6％増）、経常利益は1,021百万円（前年同四半期比70.7％増）、四半期純利益は600百万円（前年同四半期比127.0％増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における総資産は18,936百万円となり、前事業年度末と比較して5,733百万円増加しております。その主な要因は、現金及び預金、売掛金の増加並びに有価証券の減少によるものであります。

負債合計は16,207百万円となり、前事業年度末と比較して5,146百万円増加しております。その主な要因は、加盟店未払金及び利用原価引当金の増加、並びに未払金及び未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は2,728百万円となり、前事業年度末と比較して587百万円増加しております。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。なお、自己資本比率は前事業年度末から1.8ポイント低下して14.4％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,798百万円（前年同四半期比60.5％増）と前第３四半期会計期間末と比較して2,186百万円増加となりました。

当第３四半期会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は546百万円（前年同四半期比409.1％増）となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益1,022百万円、売上債権の増加5,240百万円、仕入債務の増加3,888百万円、利用原価引当金の増加1,516百万円、並びに法人税等の支払額563百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は20百万円（前年同四半期比98.8％減）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出９百万円、無形固定資産の取得による支出18百万円、並びに投資有価証券の売却による収入７百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は13百万円（前年同四半期比92.4％減）となりました。その主な要因は、ストックオプションの行使に伴う株式の発行による収入43百万円、配当金の支払額56百万円によるものであります。なお、株式の発行による収入43百万円は、株式発行に伴う費用の支払額を控除しております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益の各利益項目が、引き続き好調な事業環境及び総コスト抑制策等の実施により、平成22年11月４日公表の「平成23年３月期の通期業績予想」の数値を上回る結果となっております。

現在、第４四半期会計期間における経営環境を勘案した平成23年３月期の通期業績予想の精査を行っており、通期業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定であります。

2.　その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期累計期間の営業利益及び経常利益が２百万円、税引前四半期純利益が11百万円それぞれ減少しております。

3.　四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成22年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,798,448	4,785,841
売掛金	9,885,118	4,641,224
有価証券	―	499,886
商品	1,001	863
貯蔵品	1,248	1,189
前払費用	16,354	17,596
繰延税金資産	55,587	55,587
その他	9,350	5,990
貸倒引当金	△22,606	△10,748
流動資産合計	15,744,503	9,997,431
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,609	11,204
工具、器具及び備品（純額）	44,468	57,143
有形固定資産合計	54,077	68,348
無形固定資産		
ソフトウエア	12,847	15,018
その他	35,660	20,193
無形固定資産合計	48,507	35,211
投資その他の資産		
投資有価証券	3,006,556	3,007,100
貸倒懸念債権	―	3,117
長期営業債権	28,219	28,219
敷金	40,991	52,733
繰延税金資産	41,530	41,530
貸倒引当金	△28,219	△31,187
投資その他の資産合計	3,089,078	3,101,512
固定資産合計	3,191,663	3,205,072
資産合計	18,936,166	13,202,504

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成22年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	851	1,615
加盟店未払金	10,741,380	6,851,833
未払金	92,723	217,078
未払費用	4,815	4,096
未払法人税等	237,080	381,402
未払消費税等	32,478	25,691
前受金	1,055	929
預り金	8,053	6,040
利用原価引当金	5,087,223	3,571,039
その他	1,962	1,723
流動負債合計	16,207,624	11,061,451
負債合計	16,207,624	11,061,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,334	444,634
資本剰余金	388,820	367,120
利益剰余金	2,160,023	1,615,934
自己株式	△286,635	△286,635
株主資本合計	2,728,542	2,141,053
純資産合計	2,728,542	2,141,053
負債純資産合計	18,936,166	13,202,504

(2) 四半期損益計算書

【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）
売上高	33,315,599	54,397,639
売上原価	30,450,545	50,153,011
売上総利益	2,865,054	4,244,628
販売費及び一般管理費	2,281,480	3,254,617
営業利益	583,573	990,010
営業外収益		
受取利息	15,405	31,271
その他	731	666
営業外収益合計	16,137	31,938
営業外費用		
株式交付費	564	368
自己株式買付手数料	245	－
支払手数料	110	－
その他	206	59
営業外費用合計	1,126	428
経常利益	598,585	1,021,520
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	3,117
投資有価証券売却益	－	7,499
特別利益合計	－	10,617
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	9,444
固定資産除却損	2,115	225
投資有価証券評価損	541	－
特別損失合計	2,656	9,669
税引前四半期純利益	595,928	1,022,467
法人税等	222,624	421,577
過年度法人税等	108,540	－
四半期純利益	264,764	600,890

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	595,928	1,022,467
減価償却費	28,555	26,005
ソフトウエア償却費	6,194	5,786
貸倒引当金の増減額（△は減少）	15,218	8,890
利用原価引当金の増減額(△は減少)	990,105	1,516,183
固定資産除却損	2,115	225
投資有価証券評価損益（△は益）	541	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△7,499
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	9,444
株式交付費	564	368
受取利息	△15,405	△31,271
売上債権の増減額（△は増加）	△2,515,811	△5,240,776
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,846	△196
仕入債務の増減額（△は減少）	1,027,845	3,888,782
未払金の増減額（△は減少）	△39,301	△126,523
未払消費税等の増減額（△は減少）	△136	6,786
その他	1,438	△316
小計	96,005	1,078,357
利息の受取額	16,043	31,751
法人税等の支払額	△4,741	△563,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,306	546,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,400,000	－
定期預金の払戻による収入	2,800,000	－
有形固定資産の取得による支出	△50,215	△9,117
無形固定資産の取得による支出	△19,892	△18,549
投資有価証券の取得による支出	△3,007,245	－
投資有価証券の売却による収入	－	7,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,677,353	△20,166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	61,435	43,031
自己株式の取得による支出	△181,472	－
配当金の支払額	△55,757	△56,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,793	△13,361
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,745,840	512,720
現金及び現金同等物の期首残高	5,357,800	5,285,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,611,959	5,798,448

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。